（別紙様式４）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和1年7月24日
（前回公表年月日：平成30年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専修学校 ビューティーモードカレッジ	平成17年3月25日	親盛　省二	〒900-0034 沖縄県那覇市東町23-5 （電話）098-941-3159
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人　KBC学園	平成6年3月14日	大城　圭永	〒900-0025 沖縄県那覇市壺川3-5-3 （電話）098-835-4240

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
衛生	衛生専門課程	美容科	平成21年文部科学省告示 第22号	―

学科の目的	美容業界に係る職業人として、美容師免許取得を目指し美容業に関わる法令や専門的な知識・技能を身に付け、その知識に基づいた実習や演習を通して実務に関する実践的な能力を身に付けた人材を組織的に教育し育成する事を目的とする。
認定年月日	平成26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2091時間	588時間	30時間	1,473時間	0時間	0時間
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
218人	148人	0人	9人	11人	20人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 確認テスト・課題提出・期末試験を評価委対象とし、原則は絶対評価
長期休み	■学年始：4月1日 ■夏　季：8月上旬より3～4週間 ■冬　季：12月下旬から1月初旬 ■春　季：3月中旬から4月上旬 ■学年末：3月31日	卒業・進級条件	進級条件：出席率92%　成績評価C以上 卒業条件：成績評価C以上　履修時間2,010時間以上
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 個人及び保護者面談・カウンセリング	課外活動	■課外活動の種類 ヘアショー、美容ボランティア ■サークル活動：　無
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（平成30年度卒業生） ㈱TONI＆GUY JAPAN、㈱アッシュ、㈱’AXIS、㈱Champ、㈱Lee　沖縄ワタベウェディング㈱、（有）レスイズモア、㈱プライム ■就職指導内容 就職実務授業・学園合同面接指導・学内企業説明会　等 ■卒業者数　81　人 ■就職希望者数　77　人 ■就職者数　：　77　人 ■就職率　：　100　% ■卒業者に占める就職者の割合 ：　93.9　% ■その他 ・進学者数：　3人 （平成　30　年度卒業者に関する 令和1年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （平成30年度卒業者に関する令和元年5月1日時点の情報）

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
美容師国家試験	②	81 人	79人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄
第15回ネクストデザイナーズ・カップ　審査員賞
第13回全国理美容学校「Kawaii」選手権　専門学校新聞賞
第8回全国理容美容学生技術大会九州地区大会　優秀賞賞

中途退学の現状	■中途退学者　4 名　■中退率　2.7 % 平成30年4月1日時点において、在学者148名（平成30年4月1日入学者を含む） 平成31年3月31日時点において、在学者144名（平成31年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、勉強や将来の就職に対する興味の喪失 ■中退防止・中退者支援のための取組 学生個別ガイダンス、課外授業の実施、奨学金制度の推奨、保護者との連携、臨床心理士によるスクールカウンセリング
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　無 ■専門実践教育訓練給付：　給付対象
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無
当該学科のホームページURL	https://www.bmode.ac.jp/

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

本学科の目的を達成する為に、美容業界で必要とされる専門知識や技術、業界全体の動向や発展に向けた将来必要とされる知識や技術だけでなく、それ以外で求められる知識や能力を把握するために、県内だけでなく県外企業の参画した教育課程編成委員会を設置し、沖縄にいながら全国レベルの教育水準を維持向上していけるカリキュラムおよび科目内容及び指導方法を検討し、美容業界活性化に必要となる知識・技術を習得するための教育課程を編成する

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

①学校運営規程の（委員会等の設置）第3条に教育課程編成委員会の設置が位置づけられており、教育課程は、教育課程編成委員会に諮り、学科の目標に照らして校長が編成する。
②教育課程編成委員は、委員長（教務責任者）・学科責任者が参加、企業等の委員から提示された意見や提言を速やかに次年度以降の教育課程（授業科目・授業方法・内容等）の編成に反映させることができる。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年7月24日現在

名　前	所　　属	任期	種別
盛島　猛	株式会社　ドリームプラン	平成30年7月1日～令和2年6月30日（2年）	③
米山　実	株式会社　アッシュ	平成30年7月1日～令和2年6月30日（2年）	③
奥田　マサトシ	一般社団法人　日本メイクアップ連盟	平成30年7月1日～令和2年6月30日（2年）	①
中田　眞弓	株式会社　アルコ・ヴェリタ	平成30年7月1日～令和2年6月30日（2年）	③
國仲　陵太郎	ビューティーモードカレッジ	平成31年4月1日～令和2年3月31日（2年）	
川満　紀子	ビューティーモードカレッジ	平成31年4月1日～令和2年3月31日（2年）	
渡久地　政一郎	ビューティーモードカレッジ	平成31年4月1日～令和2年3月31日（2年）	
櫻井　早織	ビューティーモードカレッジ	平成31年4月1日～令和2年3月31日（2年）	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（開催数）
平成30年度2回
（開催日時）
第　1　回　平成30年9月25日　16:00～17:00
第　2　回　平成31年1月15日　16:30～17:30

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・現在、まつ毛エクステンションのサービス需要が増えており学生への必修として取り組む必要性があるとの指摘があり
・今後、エステの授業時間数を調整しまつ毛エクステンションの授業を導入予定

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

サロン業務全般に関する流れ実践的に習得するため、美容実習への協力と学生達の日頃の学習成果に対して、現場の目線で評価・アドバイスして頂ける企業へ協力を仰ぐ。
当校の教育内容に理解をしたうえで、学生達への指導はもとより学校側の指導力向上へつなげていくことを方針に連携する。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

①お客様の受付から案内などの一連の動作を評価する。
②お客様への気遣いや、アシスタントを想定した接客トレーニングの実施及び評価を頂く。
③サロンワーク全般の業務に対して、学校へ指導上の課題提示を頂く。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
サロン実習	外部からモデルをお客様として招き、ミーティング、受付、予約管理、施術、接客お見送りまでを行い、サロン業務に必要な接客技術を学ぶ。	ドリームプラン milieu hair studio with B
美容実習 （インターンシップ）	サロンワークを体験する事で、美容業における接客の大切さを実際の現場で体験し、将来の職業観へと繋げていくこと。	ドリームプラン milieu hair studio with B

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

教職員研修規定第2条に基づき、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

日本理容美容教育センター認定講師養成研修

・対象職員　美容科職員
・研修内容　　美容技術理論美容実習担当教員認定研修
・開催　平成30年7月
・教育内容との関係性　美容師養成コアカリキュラム対応に関する内容
・企業との連携内容　専門家からの最新情報の修得

②指導力の修得・向上のための研修等

学力不足や障害等をもつ学生の社会人基礎力向上研修

・対象職員　美容科職員
・研修内容　学力不足、コミュニケーション不足、発達障害や引きこもり等、課題を抱える学生の指導法を学ぶ
・開催　平成30年7月
・教育内容との関係性　近年増加傾向にある学力不足等の学生に対する、就職後の職場対応力をサポートする。

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

トニー＆ガイ　認定講師研修会

・対象職員　美容科職員
・研修内容　トニー＆ガイ　認定講師研修
・開催時期　令和元年8月
・教育内容との関係性　美容師養成コアカリキュラム対応に関する内容
・企業等との連携内容　（株)トニーアンドガイジャパン認定講師からの最新技術の習得

②指導力の修得・向上のための研修等

コーチング研修

・対象職員　美容科職員
・研修内容　学生指導のためのコーチング技術習得
・開催時期　令和2年3月
・教育内容との関係性　在校生のガイダンスの際に必要なコーチング技術の習得

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

当校の教育理念は、高度な技能技術を身に付け、人間性豊かな永久戦略となる人財を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現する為に必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員会を設置して下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、校長を通じて即座に次年度の学校運営に反映させる。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	①教育理念･育成する人財像が､「学生の手引き」に記載されているか ②教育理念・育成する人財像が、教職員手帳等に記載されているか ③教育理念・育成する人財像が、HP、パンフレット・募集要項等に記載されているか ④学科の修業期間における教育事業計画が文書化され、提示されているか
（2）学校運営	①年度予算、中期計画が策定されているか ②予算は計画に従って妥当に執行されているか、定期的に確認しているか ③理事会・評議委員会が定期的に開催されているか ④運営会議が定期的に開催されているか ⑤人事考課制度は文書化されているか ⑥賃金制度は文書化されているか ⑦採用制度は文書化されているか ⑧勤務管理が適正にされているか
（3）教育活動	①教育理念の達成に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか ②カリキュラム作成の為のカリキュラム作成委員会があるか ③カリキュラムを作成するに当たり、教育課程編成委員会を開催し業界関係者等の外部関係者の意見を取り入れているか ④シラバス或いは講義要項等が作成されているか ⑤シラバス或いは講義要項等が事前に学生に配布されているか ⑥学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか ⑦授業改善の為の組織的取り組みが行われているか ⑧企業・施設等での職場実習があるか ⑨キャリア教育等を行っているか ⑩ビジネス教育を行っているか ⑪コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか ⑫教職員の育成計画等が策定されているか ⑬専門性や指導力等の向上の為の外部研修・研究へ派遣しているか ⑭教員の資質の向上の為の、自己啓発への支援をしているか ⑮非常勤講師との定期的な情報共有の為のミーティング等を開催しているか。および非常勤講師からの報告書が提出されているか

（4）学修成果	①就職に関する目標を設定したか ②就職に関する目標は教職員に共有されているか ③就職活動に関する記録がなされているか ④学生の就職結果に関して検証・報告がされたか ⑤資格･検定･コンペに関する目標を設定したか ⑥資格･検定･コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか ⑦資格･検定･コンペ結果に関して検証・報告がされたか ⑧進級率の目標を設定しているか ⑨進級率に関する目標・計画が教職員に共有されているか ⑩退学結果に関して検証・報告がされたか
（5）学生支援	①担任による面談が定期的に行われているか ②担任は、適切に配置されているか ③学生のメンタルヘルスについて相談できる窓口が整備されているか ④学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があり、周知されているか ⑤学生の面談・相談記録があるか ⑥定期的に健康診断を行っているか ⑦奨学金制度等の経済的支援があるか ⑧保護者との計画的な相談会・面談を行っているか ⑨卒業生の会（同窓会等）はあるか ⑩卒業生への職業紹介をしているか ⑪卒業生の就業状況把握の為の取り組みを行っているか
（6）教育環境	①組織図はあるか ②学校の年間スケジュールはあるか ③図書室・図書コーナー等があるか ④キャリアサポートを行う就職支援室・支援コーナー等があるか ⑤喫煙に関する規定が文書化・提示されているか ⑥環境エコ活動に関する規定が文書化・掲示されているか ⑦学内の整理・整頓・清掃に関する規定が文書化されているか。また定期的に管理、チェックがされているか ⑧学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか ⑨学校生活において保険に加入しているか ⑩教育施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ⑪防災・防犯対策に対して文書化・組織化されているか ⑫防災・防犯訓練・研修が定期的に実施されているか
（7）学生の受入れ募集	①学校案内等に目指す資格・検定・コンペが明示されているか ②学校案内等に学費・教材費・選抜方法等が明示されているか ③入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制が出来ているか ④学校説明会等による情報提供を行っているか ⑤入学者に対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか
（8）財務	①会計監査の結果報告が文書等にて明確化されているか ②私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか ③備品及び車両に関する管理規定が文書化・管理されているか ④物品購入等における複数業者からの確認がされているか
（9）法令等の遵守	①個人情報保護規定が文書化されているか ②セクシャルハラスメントに関する規定が文書化されているか ③施設設備の保守・管理が定期的に行われているか ④防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか ⑤教職員の健康診断がなされているか ⑥自己点検・評価の為の運用ルールが文書化されているか ⑦自己点検・評価の組織があるか ⑧自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか ⑨自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。結果に基づき計画的に改善を実施しているか ⑩自己点検・評価報告書があるか。公表されているか
（10）社会貢献・地域貢献	①社会的活動（地域活動・地域貢献・ボランティア活動等）を実施しているか ②教育資源を地域社会に提供しているか ③社会的活動（地域活動・地域貢献・ボランティア活動等）を奨励・支援しているか
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

平成30年度の学校関係者評価結果に基づき、今後も改善改革を推進する。
①カリキュラム・シラバスについては、作成することを目的とせず、社会情勢等に照らし合わせて改善を実施する。
②開学して10年以上のキャリアを重ねた学校として、卒業生のネットワークを活用し、学校運営の改善に努める。
③危機管理上の課題を優先して取り組む。責任者を配置し、進捗状況を確認しながら進める。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年7月24日現在

名　前	所　　属	任期	種別
仲西　小百合	一般社団法人　JMA	平成30年4月1日～令和2年3月31日（2年）	有識者
高江洲　重雄	タカラベルモント株式会社	平成30年4月1日～令和2年3月31日（2年）	企業等委員
前里　久誌	MSサポート	平成30年7月1日～令和2年6月30日（2年）	保護者
前田　昌男	株式会社　Champ	平成31年1月1日～令和2年3月31日（約1年）	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(　　)

URL:https://www.bmode.ac.jp/

公表時期　令和元年7月24日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資する事。
その為に、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題等学校全体に関する情報を分かり易く示す事。
②又、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼につなげていく事。
③情報の公開を通じて学校の教育の質の確保と向上を図る事を目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(1)学校の概要、目標及び計画	①教育理念　②学校の特色　③校長挨拶　④所在地、連絡先
(2)各学科等の教育	①募集学科・定員　②入学方法　③カリキュラム　④目標とする資格・検定　⑤資格・検定実績　⑥就職状況
(3)教職員	①教職員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①就職サポート
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事
(6)学生の生活支援	①学生寮について　②学生の声
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金　②学費免除制度、奨学金
(8)学校の財務	①収支計算書、貸借対照表、監査報告
(9)学校評価	①自己点検・評価　②学校関係者評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ

URL:https://www.bmode.ac.jp/

授業科目等の概要

（衛生専門課程 美容科）平成31年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	美容師の業務に関係する衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識を修得する。併せて、公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について学び、美容の業務に関する規程内容の理解、衛生法規が、美容業を行う場合の指針となることを理解する	1後・2前	33		○			○		○		
○			衛生管理	公衆衛生の意義と本質とを明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進について重大な責務を担わなければならない理由は何かを理解する。特に環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連づけ理解を深める	1通・2通	93		○			○		○		
○			保健	美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の修得を目的とする	1通・2通	93		○			○		○		
○			香粧品化学	美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、正確な科学知識と合理的思考に裏付けられた美容器具や香粧品の適正な取り扱いが不可欠であることを理解する	1通・2前	63		○			○		○		
○			文化論	美容業の使命のひとつが、よりすぐれた人間美の創造、実現にあることを認識し、使命達成のために必要な美的感覚を身につけ洗練し芸術的な表現力と鑑賞力を養う	1通・2通	63		○	△		○		○		
○			美容技術理論	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い工夫し創造する能力を身につける。美容器具の正しい取扱い方法と美容の基礎的技術を作業の実際に即し修得する	1通・2通	150		○			○		○		
○			運営管理	経営管理の基本的事項の学習及び美容業における科学的な経営管理手法の重要性を学び、美容所の経営に関する知識を修得する。美容業において、適切な接客態度がいかに重要であるかを理解するとともに消費者対応の基本を学び実践する能力を身につける	1前・2前	33		○			○		○		
○			美容実習	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するために、基本的操作を確実に身につけるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせて完成させる技術を習得する。美容所における衛生管理の重要性を理解し、器具の消毒などの適切な実施方法を身につける	1通・2通	900				○	○		○		
○			美容実習（インターンシップ）	サロンワーク実習を通し、美容サロンでの接客を体験する。美容業における接客の仕方を学び職業観を醸成する	1後	30				○		○	○		○
○			メイクアップ	お客様が本来持っている美しさを引き出し「目的にあった顔づくり」が出来る技術を身につける。美容のプロとして美容室での日常的なメイクアップを学ぶ	1前	60				○	○		○		
○			美容総合技術Ⅱ	お客様へのトータルな提案ができるよう、ヘアに加えエステ・ネイルの基礎を学ぶ。エステの基本的な手技の習得に加え、内面からの美しさや「気配り・心配り」などの重要性を学ぶ。ネイルの基礎技術を学びヘアやファッションの流行に合わせたネイルについて学ぶ	1前・2通	60				○	○		○	○	

授業科目等の概要

（衛生専門課程美容科）平成30年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コンピュータ実習	サロン業務で必要とされる基本的なオペレーション手法（文書作成・表計算）やＤＭ作成などの基礎的な技術を習得する	1通	30				○	○		○		
○			美学・造形（美術・芸術・デッサン）	授業前半は教科書「ヘアスタイル画」によるトータルファッション」を使用し、頭部のプロポーションから鉛筆や色鉛筆を使用した表現方法までをトレーニングし、それぞれの上限能力の向上を図る。後半はその技法を活かし美的表現能力をもって全国理美容甲子園デッサン部門に出展する作品を作成する	1前	30			○		○		○		
○			就職実務	職業倫理や社会人としての心得、仕事への取組み方など職業人としての基本的心構えを学ぶ。併せて履歴書作成や面接対応トレーニング（基礎）を行い就職活動の準備を整える	1後	30		○	△		○	△	○		
○			色彩学（カラーリング）	色相環から明度、彩度、色相を学び、カラーイメージからヘアの似合わせに落とし込むための知識・技術を習得する	1通	30		○	△		○		○	○	
○			ヘアアレンジ	カットやカラーを通して総合的なヘアアレンジを学習し、多彩なアレンジ技術を習得する	1前・2前	33				○	○		○		
○			サロン実習	外部からモデルをお客様として招き、ミーティング、受付、予約管理、施術、接客、お見送りまでを行い、サロン業務に必要な接客技術を学ぶ	2前	60				○	○		○		○
○			志学	KBC学園の教育理念に掲げた「永久戦力」を目指し、人間性を磨き各自の「志」を立てる為に「学生クレド」について理解を深め、望ましい価値観（働く意義）や考え方を身につける.社会人に求められる能力（社会人基礎力）について理解し、その能力を元にロールモデルを探し論理的に考え方、伝え方の手法を学び、自身の志を立て伝える	1前・2前	60				○	○		○		
	○		美容総合技術Ⅰ	世界的な場面で活用されている様々なカット技法やメイクアップ技法、さらにブライダルにおける基礎的な技術を習得し、専門性を持った人材として美容業で活躍できるように学習する(メイクブライダルコース、ヘアデザインコース、ネイル・アイラッシュコースより選択)	1後・2前	240				○	○		○		
合計				19科目	2,091単位時間（69単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
①全年次の出席時間が2,010時間以上であること ②全年次の科目評定がすべてＣ以上であること ③全年次の学費及び補助活動費が納められていること ④卒業試験をクリアしていること	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	22週